

係などから構成されている。なお、本研究の成果は、「オーストラリア高等法院の憲法審査過程の分析」と題して、安沢喜一郎教授 古稀記念 論文集（『法律論叢』42巻4・5・6合併号，1969年）に発表したことを付記しておく。

オーストラリア高等法院の 憲法審査過程の分析

野 上 修 市

An Analysis of the Process of
Constitutional Adjudication in
the High Court of Australia

Shuichi Nogami

憲法審査過程が、単に憲法の原理や規定の自動販売機的適用過程ではなく、憲法外的諸要素を考慮した複雑かつ多面的な過程であることは、いうまでもない。「憲法はすぐれて政治的な法である」といわれるのは、このためである。それ故、憲法解釈が政治的色彩を帯びるのも、これまた至極当然である。したがって、憲法審査過程を実態的・実証的に検討するためには、従来の伝統的な方法とは異なった角度や方法で、アプローチすることが必要となる。本研究もそうした問題意識から、オーストラリア高等法院の憲法審査過程を分析するものである。

ところで、その場合、次のような角度と方法からアプローチすることを指摘しておく。すなわち、第1は、憲法解釈がすぐれて政治・政策的価値判断の選択であるという前提に立っての高等法院の憲法理論の考察、第2は、高等法院が政治的・政策的決定の役割を有する以上、審査過程において、裁判官の司法行動（judicial behavior）に影響を与える諸要因の検討、そして第3は、高等法院の政治機関としての構造が、裁判所外の政治との関係（政党との関係）において、その判決に与える影響の考察である。それ故、本研究の内容は、①高等法院の憲法理論の考察、②高等法院の憲法解釈の方法論の検討、③高等法院の憲法判決の形成要因の考察、④高等法院の人的構造と政治との関